

保育所における自己点検・自己評価

- A : たいへん良い
- B : 良い
- C : 一部検討を要する
- D : 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
保育目標について	(1) 保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			子どもの発達に添って立てていった。設定した目標に添うように話し合いを重ねていくことが必要である。		
	(2) 設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			保護者の立場、思いをくみながら目標を設定していった。		
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの姿から指導計画を作成している。振り返りをし、反省・課題点は担任間で話し合いをしていった。		
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			物的環境は、手作り工作を主にを行い、環境が豊かになるように努力をしていった。		
行事について	(1) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			コロナ禍の中でも、子どもに体験させてあげたい行事等について、ねらい・内容を検討し行っていた。		
	(2) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			現状に添った行事のねらい・内容になるように取り組んでいった。活動後の子どもの様子を保護者に伝え、共有していった。		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。		○			各自の役割を認識できるよう、今後も話し合いを重ね努力をしていく。	
		(2) 職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。		○			見通しをもち計画的に行っているが、他の職員への協力体制がより得られる努力をしていく。	
		(3) 割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。		○			係の仕事に対して、真面目に取り組む努力をしている。	
	運営	(1) 自己の職責を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			園の運営に対して、建設的な意見が出ている。その中で、話し合いをし方向性が同じになるように努力をしている。	
		保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的保健対策を行っているか。		○			感染症対策については、基本的なことを具体的に絵で表記し実行している。
			(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			避難訓練は、計画に基づき実施できた。交通安全指導については、交通指導員の指導を仰ぐことはできなかったが、担任が行った。
			(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			おたより等を使い、具体的な内容で伝えている。家庭での様子について聞くようにし、共有している。
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			各関係組織と連携がとれるように、園児の安全確保に努めている。	
研修	研修	(1) 資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。		○			初めてリモートでの研修参加を行った。積極的に参加したが、園内研修の時間ももてるように努めていく。	
		(2) 研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。			○		消防署でのAED講習は、コロナの影響で一年できなかった。研修等については、機会があれば積極的に参加していきたい。ボランティア活動を通して、地域交流をしていきたい。	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報マニュアルに基づき、守られている。	
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。		○			提出期限を守り、作成処理ができています。	
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。		○			安全点検は確実にいき、不具合が生じた場合、報告を受け、早急に対応をした。業者へ依頼する案件については、時間がかかる場合があった。	
	(2)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。		○			不審者訓練を年2回行う。訓練の振り返りを行い会議で反省、課題を出し職員へ周知している。	
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。		○			保護者との連携は、積極的にとるよう努めている。地域の方とは、散歩での挨拶を大切にしている。また、地域の方の畑でさつま芋作りをしている。収穫したさつま芋で、焼き芋と一緒に食べ交流をした。その際、近隣の保育園児も合流し、一緒に楽しんだ。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。		○			
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。また、地域の文化や生活に触れているか。			○		コロナ禍での地域交流の情報は、得られなかった。今後、情報を集めて参加をしていきたい。
	子育て支援の連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。			○		コロナ感染症が流行したため、園庭開放という形では、実施できなかった。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。また、交流を図ることに前向きであるか。		○			園見学者の方が多数来園したので、その時に育児について現状を聞いたり、悩み・アドバイスについて聞く機会を積極的に設けていった。
	評価部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。		○			散歩先で出会った地域の方との挨拶は積極的に行っている。保護者からの意見や思いは、謙虚に受け止め、話し合いを重ね、歩み寄っている。